

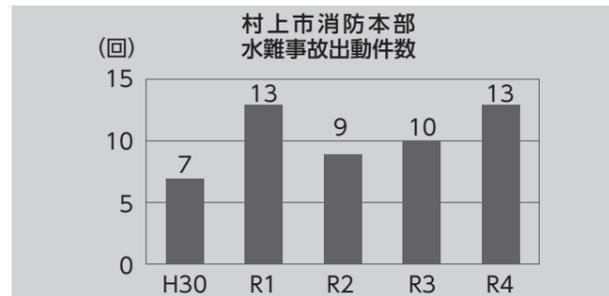
水 夏場は水の事故が多く発生します の事故にご注意を！

問い合わせ 消防本部警防課救急係 ☎53-7223

海、川やプールでの事故を防ぎましょう

これから本格的な夏のシーズンが始まります。市消防本部管内でも、毎年水難事故が発生しており、多くは7～8月頃に発生しています。事故を防止するため、次のことに注意してください。

- ①小さい子どもと水遊びをするときは、必ず保護者や大人が付き添い、目を離さないでください。
- ②飲酒後や体調が悪いときは、遊泳をしないでください。
- ③荒天時や天候不良が予想される場合は、海や川に行くことを中止してください。



溺れている人を発見したときは

すぐに119番通報をしてください。救助するために自ら飛び込んでしまうのは大変危険ですので、絶対にやめてください。救助する場合は、ロープや長い棒など、溺れている人がつかまることができるもの、あるいはペットボトルなどを即席の浮輪にして投げ渡すなどしてください。



自分が溺れてしまったときは

慌てて動いてしまうと、無駄に体力を消耗します。ラッコのようにあおむけの姿勢で、呼吸を確保しながら浮いた状態で助けを待つことが、救助される確率を高めるポイントです。



▲ミニ講座「お口の健康と歯のはなし」



▲カフェタイムを再開しました

市では、新規介護認定申請をする際に、認知症を理由として申請される人が最も多い状況が続いています。また、介護認定を受けている人のうち、約6割以上が認知症によって誰かの見守りが必要な状態（認知症自立度Ⅱ以上）であり、ご家族のサポートを受けたり、介護サービスを利用しながら生活されています。

「かたるんカフェ」は、認知症の人やその家族、介護をしている人、これからの家族介護に備えておきたい人などを対象に、毎月一回、開催しています。身近にあるカフェのように、ほっと一息つける場所として、お気軽にお立ち寄りください。皆様のお越しをお待ちしております。

ほっと一息つきませんか

『かたるんカフェ(認知症カフェ)』で、

問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎75-8937 記事ID 0035493

地域包括支援センター通信

市内企業で働くことを選んだ若者のリアルな生活や働いてみて感じたことなどを紹介しています。



ここで働く

“ふるさとに根付く建設企業で働く”

とがし ゆうき 富樫 優紀 さん (杉原/28歳)



中学生の時に職場体験でこの会社、そして建設業界に興味を持ったことがきっかけです。また、村上大祭や七夕祭りなどの地元のお祭りが大好きで地元で働きたいという思いが後押ししました。

■働いてみての感想
建築現場での施工管理（現場の指揮や進捗管理など）が主な仕事です。入社してから2年間は先輩と一緒に現場でしたが、3年目からは自分1人で現場を任せられました。大変さもありましたが、いろいろな現場を管理する事ができて、良い経験になっていきます。

■趣味・プライベートについて
ドライブや旅行が好きなので、休日は新潟市に行ったり、県外に行ったりして過ごすことが多かったのですが、昨年、1人目の子どもが産まれてからは、子どもを連れていく楽しみも増えてさらに遠出することが楽しくなりました。

株式会社 加藤組 (久保多町7-3)
☎53-4165 会社HP: <https://www.katou-gumi.co.jp>
設立 大正13年4月10日
従業員数 86人 (令和5年4月現在)
主な事業内容 土木一式工事、建築一式工事など

岩船郡村上雇用対策協議会会員、新潟県ハッピー・パートナー企業 (男女共同参画推進企業)

■この企業を選んだ理由
最近では特に若い人がどんどん市外へ就職してしまう傾向があると思いますが、村上市で育った皆さんはぜひ村上に残って一緒に地域貢献していきましょう。そして、若い力で村上大祭をはじめ、さまざまなイベントを盛り上げていきます。

■人事担当者からの一言
建設業界は常に人手不足な状態が続いています。彼のように若い時から興味を持ってもらえるように、きっかけづくりを増やしていきたいと考えています。

■これから働く人へのメッセージ
最近では特に若い人がどんどん市外へ就職してしまう傾向があると思いますが、村上市で育った皆さんはぜひ村上に残って一緒に地域貢献していきましょう。そして、若い力で村上大祭をはじめ、さまざまなイベントを盛り上げていきます。

